

編集／鹿児島県 発行／鹿児島県広報協会
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 TEL:099-286-2111 内線2095 FAX:099-286-2119
鹿児島県ホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/> **KAGOSHIMA**

1面～2面 防災特集
3面 食中毒を予防しましょう。
あなたの住民税が変わります。
4面 情報ボックス / 特産品プレゼント

防災特集

平成18年7月鹿児島県北部豪雨災害の教訓を生かして



昨年7月県北部を中心とする地域が記録的な大雨に見舞われ、川内川・米之津川などがはん濫するなどして、広い範囲で浸水被害が発生しました。

その際、避難が遅れた多くの方が自宅などの建物に取り残されましたが、消防や自衛隊などによる懸命の救出活動によりほとんどの方が救出されました。しかし、その一方で5人の方が亡くなりました。

この災害で得た教訓は、今後起こり得る全ての災害に共通するものです。本格的な梅雨期や台風シーズンを前に、皆さん自身、そしてまわりの大事な人を守るため、行政と県民が一体となって災害に強い地域づくりに取り組んでいきましょう。






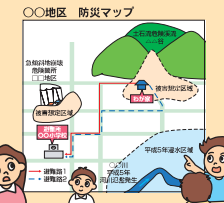


川内川のはん濫による濁流に飲み込まれるさつま町虎居地区
(陸上自衛隊災害派遣部隊撮影：平成18年7月22日 17時30分頃)



被災地を調査する伊藤知事(平成18年7月24日)



同じ地点から撮影した現在のさつま町虎居地区

北部豪雨災害の課題・教訓	自分たちでできること	県、市町村の取り組み
 <p>雨が強くって避難情報がいつ出たのか、わからなかったんだ。</p> <p>確実な避難情報の伝達</p>	<p>q 大雨の時などは、市町村の情報やテレビ、ラジオの情報に注意しましょう。</p> <p>w 自主防災組織などで地域における情報伝達方法も決めておきましょう。</p> <p>e 住んでいる地域に避難情報が発令されたときは、速やかに行動しましょう。</p> 	<p>q 皆さんに確実に避難情報を伝達できるよう、複数の伝達手段の確保に努めます。</p> <p>w 避難情報などの重要情報を皆さんに気づいてもらえるよう、放送前にサイレンを鳴らすなど伝達方法の工夫に努めます。</p>
 <p>あそこの家の足の不自由なおじいちゃんは避難できたかしら？</p> <p>お年寄りなど災害時要援護者の安全確保</p>	<p>q 日頃から隣近所のお年寄りや体の不自由な方などの災害時要援護者を確認しておきましょう。</p> <p>w 地域ぐるみで災害時要援護者の避難支援を行いましょう。</p> 	<p>関係機関や地域住民と一体となって災害時要援護者の安全な避難支援対策に取り組んでいます。*</p>
 <p>家があつという間に浸水して、あわてて避難したんだ</p> <p>安全な避難所、避難路の確認</p>	<p>防災マップなどで避難所や避難路を確認したり、実際に防災点検や避難訓練を行ってみましょう。</p> 	<p>q 防災マップなどにより、皆さんに災害のおそれがある災害危険箇所※をお知らせします。</p> <p>w 避難所や避難路などが、土砂災害や浸水のおそれがある場所にないか再点検に取り組みます。</p>
 <p>広い範囲で災害が起こったから、消防などの救出活動に時間がかかったんだね</p> <p>地域ぐるみの防災活動が不可欠</p>	<p>勉強会や防災マップ作りなどの地域防災活動に取り組みましょう。</p> 	<p>q 自主防災組織の結成促進や育成、活動推進に取り組みます。</p> <p>w 県防災研修センターでの研修や同センター・NPO法人鹿児島砂防ボランティア協会などによる防災出前講座などを実施します。*</p>

※については2面をご覧ください。

あなたのまわりの危険箇所!!

これから梅雨前線や台風に伴う長雨・集中豪雨により災害が発生しやすくなります。特に、次のような場所にお住まいの方は、早めの避難に心がけてください。

土砂災害はこんなところで起こります!!

急傾斜地崩壊危険箇所、山腹崩壊危険地区ではがけ崩れに注意!

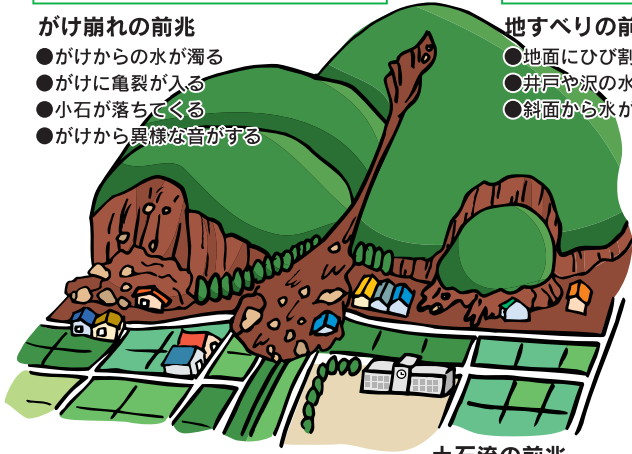
がけ崩れの前兆

- がけからの水が濁る
- がけに亀裂が入る
- 小石が落ちてくる
- がけから異様な音がする

地すべり危険箇所では地すべりに注意!

地すべりの前兆

- 地面にひび割れができる
- 井戸や沢の水が濁る
- 斜面から水がふき出す



土石流危険渓流、崩壊土石流出危険地区(山間や谷の出口、河川の upstream 部)では土石流に注意!

土石流の前兆

- 山鳴りがする
- 立ち木のさける音、石のぶつかり合う音が聞こえる
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる
- 川の水が急に濁ったり、流木が流れる

浸水被害はこんなところで起こります!!



河川地域

河川の流域や、かつて河川敷だったところは、豪雨によって洪水に見舞われるおそれがあります。

海岸地域

台風が満潮のころ接近する場合は、高潮などに注意してください。特に低い土地では厳重な警戒が必要です。



土砂災害警戒情報ってなに?

土砂災害警戒情報は、長雨や集中豪雨の際に、土砂災害の発生危険性が非常に高まった時に発表されます。皆さんには、市町村の防災行政無線や広報車のほか、テレビなどでもお知らせしますので、避難の目安として活用してください。

みんなで防ごう土砂災害

6月は土砂災害防止月間

5/20~6/30は山地災害防止キャンペーン

防災出前講座を活用してください。

市町村、自治会、自主防災組織などが防災活動(防災マップ作り、防災勉強会、防災点検、避難訓練など)を実施する際に、皆さんの要請に応じて、防災の専門家や防災研修センター・NPO法人鹿児島砂防ボランティア協会の職員を派遣しています。



勉強会の講師や土砂災害危険箇所の防災点検、避難訓練のアドバイスを行っています。



参加者が地図を囲み、避難所や危険箇所などを記しながら、地域の防災マップを作成することで災害時の対応を学ぶ研修を実施しています。

〈問い合わせ先〉 鹿児島県防災センター 1 0995(64)5251
NPO法人鹿児島砂防ボランティア協会 1 099(227)4458

県北部豪雨災害の復旧に取り組んでいます。

平成18年7月豪雨により甚大な災害を被った川内川水系および米之津川については、おおむね平成22年度を目標に、激特事業により復旧に取り組んでいます。その他の災害復旧事業については、ほぼ全ての工事に着手しており、現在約5割が完成したところです。被災地の皆様が安心して暮らせるよう、一部の箇所を除き、今年の梅雨期までの完成を目標に取り組んでいます。



災害復旧の進む高尾野川
出水市高尾野町西水流地内

災害時要援護者の避難支援にご協力を!

過去の災害においては、犠牲者の多くが一人暮らしの高齢者など、災害時に一人では避難が困難な方々でした。このような方々の犠牲を一人でもなくすためには、普段からの見守り活動、そして大雨の時などの声かけ、避難誘導が効果的です。皆さんの地域でも取り組んでください。

q 普段からの見守り活動



こんにちは最近お変わりありませんか?

避難の時は声かけをして一緒に避難しなや



息子夫婦が隣町に引越してさびしくなりました。



足がしたんですか?

避難の時は車いすでの支援が必要だね



このあいだ階段で転んじやって今うまく歩けないのよ。

w 災害時の避難支援



おじいちゃん一緒に避難するよ~

避難時の声かけ



自主防災組織などによる地域での避難支援

※市町村においては一人暮らしの高齢者など、避難に支援が必要な方々の特定、避難の支援計画などを内容とする「災害時要援護者避難支援プラン」の作成に取り組むこととしていますので、皆さんのご協力をお願いします。

〈問い合わせ先〉 県庁危機管理防災課 1 099(286)2256
県庁砂防課 1 099(286)3618